
政宗様は恋人

侍スピリッツ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

政宗様は恋人

【NNコード】

N8083Q

【作者名】

侍スピリッツ

【あらすじ】

自分の人生がつまらないと感じる海沢
百合花に運命的な出会い？

1話 独眼竜伊達政宗

はあ一つまんない生活、つまんない人生…
「なんだよクソ親父、そんなに出てけつて言つたら出つてあげるわ
よ。」

彼女の名前は海沢百合花 読み方はうみざわ ゆりかだ。運動神
経抜群で、都内一の天才。だがそんなある日、親と喧嘩をして家を
出て行くことになる。この物語は彼女のつまらない生活が一変する
ところを描いている。

新しい部屋、でもお金が無かつたのでそれ程広くない。家具などで
いっぱいぱいだ。

チリリリーチリリリーユ覚ましが鳴った

「ん~、もう朝かひさびさに学校いこつかな。」

30分遅れだつたすると担任が

「海沢さん、1ヶ月もやすんどうしたの、大丈夫?」

「別に。」

「別にじやなくてどうした…

「ウザイ。」

やつぱ帰ろ、帰り道3人のチンピラが

「よ~姉ちゃん俺らと遊ばない?」

「死ね。」

「んだとコラやつちまえ」

その場にあつた棒で一人チンピラ気絶させた。

実は彼女は剣道三段の腕前である

「へへへ棒を奪つたぜこれ以上調子に乗れねえな。
クソ何があれば…」

ギュインバリバリドーン

何だの人?そこに居たのははかまをはきいかにも武士らしい格好
をした人だイケメンだししかも、眼帯を右眼につけている。

「助けてくれません?」

「ん? 女によつてたかつて恥じぬのか?」

「ウルセエ、そんな切れねエ刀なんかでびびるかよ!」

スパツ コンクリートを真つ二つにした。

チンピラはナイフ取り出して襲いかかつてきだ。

ドカツ

「安心しろ、峰うちのはずだ。」

「…一人死んでるわよ。」

「あーミスつた。」

「それより助けてくれてありがと。」

「俺はただムカついたから切つただけだ、じゃあな。」

「ちょ、ちょっと!」

しかし、何処かえ行つてしまつた。

無愛想な奴なんのよあの態度。

次の日にスーパーへ出かけると昨日のあいつが居た。

「なんだこここの食べ物凍つっているだ。」

「アハハハすいません弟がほら行くよ。」

スーパーの外へ連れ出した。

「俺はお前の弟になつたおぼえはない。」

「それはイイのとりあえず聞きたいこと山程あるから私の家きて。タクシーをつかまえ家についた。

「…………なるほど信じられないことばかりだけじまとめるとこづね。あなたは戦国時代から來た伊達政宗なのね。」

「そういう事だ。しばらくここに泊めてもらひうぞ。」

「え、こんなイケメンと同居…

私の人生変わるかも?」

1話 独眼竜伊達政宗（後書き）

どうも今回はじめて小説を書かせていただきました（ 、 、 、 ）
（ ）ノ最初はファンタジーにしようとしていましたが恋愛ものにさせ
せていただきました

今後も書きますので応援よろしくお願ひいたします（ ^ ^ — ^ ^ ）

▼

LOVEバトル？

チリリリーチリリリー田覚ました

「ん~眠いわねもう一回寝よ…………つてなんでこいつが私のベッドにいるのよおお~？」

「ん、朝から騒々しいぞ。安心しろ貴様の身体などに興味はない。」

カツチーン

「いいわよ、私と勝負しなさい。」

「俺に剣で勝てるとしても？そのかわり俺が勝つたら命令をきいてもらうぞ。」

「じゃあ私が勝つたら1日私に付き合つてもらうさよ。」

そして、川沿いの丘で木刀勝負は始まった。

「テリヤ、ドリヤ。」

「ははは、その程度でおれにかてるとでも。もううた！」

木刀は私の頭の0.5mぐらの所でとまっている。

「ふつ、命令だ俺にこの街を案内しろ。」

それって…私の命令と同じじゃないかな？

「じゃあコンビニに連れてつてあげる。」

「おいつ貴様、俺の手に触れるでない！」

「イイじゃない、ほら行くよ。」

「ココよ…隠れて？」

「誰だ？あいつ？」

そこに居たのは眼鏡をかけ、髪型は七三分けのいかにも真面目君だった。

「あいつは、私の幼馴染みの神坂 剣兎「かみざか けんと」学校サボつてから会つと面倒なの。あつ、ばれた。」

「百合花ちゃん、学校来なよ。それより…

「今日用事あるから、行こう政宗！」

「おーーそこの一政宗とかいったな、明日の午前0時川沿いの

「川へ向った。

「違つとこ行こひ。」

その後、アイス屋に行つて帰つた。

「じゃあ私先寝るね。」

「でわ、俺も寝よう。」

「つて、このド変態？なんでもまた私ベッドにまこつてへるのよ。」

「これしかいでわ無いか！」

「なんで逆ギレ？仕方無い布団出すからそれで寝てー。」

「最初からだしておけ。」

政宗は百合花が寝た事を確認して川沿いの丘へ向つた。

LOVEバトル？（後書き）

いや～出版されるような作品書きたいですね。
いい所、悪い所のご指摘お願いします

＼(×○×)／

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8083q/>

政宗様は恋人

2011年10月8日18時06分発行